

週変わりで価格が下がる！  
激安アイテム発掘か、店との駆け引きを楽しむか？！



値段の書いていない値札

商品についている値札(タグ)は野菜や果物の絵になっており、値段は書かれていない。値段は毎週変わるため、固定できないからだ(※)。その週の値段は「今週の値段表」で確認する。野菜と価格が書かれてあり、「今週の『バナナ』は5000円」とわかる。  
(※)ブランドアイテムなどは、一部例外品として固定価格が記載されたタグが付いている。

水曜日にドンドンダウン！

毎週水曜日、野菜タグの付いた商品全てがドンドン値下がりする。3,000円の商品(①)なら、次の水曜日は2,000円(②)に。その次の水曜日には1,000円(③)、4回目の水曜日にはなんと100円(④)！100円まで値下がった商品には、タグに「100円」のシールが貼られ100円で固定される。運よく、気に入った商品を激安で手に入れられることもあるし、気に入った商品を値段が下がるまで待っていて、買いそびれる可能性もある。まさに「待つか、決めるか、取られるか」。いずれにせよ、購買者は「価格」をゲーム感覚で楽しむことができ、店は商品の回転率を高めることができる。

POINT

水曜日は来客数が急増するため、レジ対応のスタッフを中心に増員し、それ以外の曜日には、商品をじっくり見に来るお客様が多いため、商品説明ができるスタッフを強化しているという。

10000円	①
9000円	②
8000円	③
7000円	④
6000円	⑤
5000円	⑥
4000円	⑦
3000円	⑧
2000円	⑨
1000円	⑩
500円	⑪
100円	⑫

ポッキリ価格の12種類!!

商品陳列棚のところどころに下がっている「今週の値段表」。野菜や果物の絵と価格の表記は、遠くからでもわかりやすい。1枚めくるごとに次の週の値段表が変わる。

ドンな服でも買い取ります！  
残った商品はアジア・アフリカでリサイクル



地球と環境にドンドン優しい！

売るだけではなく、もちろん買い取りもしている。「ドンな服でもドンドン買取」絶対にはりません、ドンだけは！をキャッチフレーズに、リサイクルの精神である「3R」(「Reduce(発生抑制)」「Recycle(再加工)」「Reuse(再利用)」)を実現すべく、衣料品全般を買い取っている。売れない商品については商社を通してアジアやアフリカに輸出され、再利用される仕組み。また、アパレル店舗では初めて、ショップバッグの有料化を開始。レジ袋を20円とし、これによる収益は、古着の輸送費や花を植えるなどの、地域の緑化運動にも役立っている。

お客様でにぎわうレジ。買取と販売のレジが隣同士にあり、常に行列が絶えない。

「待つか、決めるか、取られるか」  
毎週価格がドンドン下がる！

アパレルリサイクルショップ

DonDonDown on Wednesday



広々とした駐車場で、ふと振り向くと、黄色と緑の建物に、大きく赤白文字で「毎週水曜日ドンドン値下げ」とある。あまりのインパクトに思わず吸い寄せられて店に近づくと、どうやらそこは洋服のリサイクルショップ。平日の昼だというのに、多くの若者たちで賑わっている。何が「ドンドン」なのか、なぜこれだけ人が集まるのか、そのシステムに注目した。

店舗プロフィール

DonDonDown on Wednesday  
前橋荒牧店

住所：群馬県前橋市荒牧町823-1  
電話/FAX：027-260-6071 / 027-260-6072  
営業時間：10:00～22:00



大人用(上)、子供用(下)など、あらゆる服をカテゴリー分けして、わかりやすく見やすい商品構成。色も形もメーカーもすべて異なっているのに雑然として見えないのは、アパレルショップを経営していたスキルを活かした店舗作りになっているから。

経営母体は株式会社・エイブ(本社：岩手県盛岡市)。従業員約95名(2007年12月現在)。2005年2月、1号店となる「DonDonDown on Wednesday 八戸CINO店」をオープン。現在の店舗数は、直営8店舗とFC5店舗の合計13店。岩手県5店、青森県4店、山形県・群馬県・埼玉県・石川県に各1店舗展開で、前橋荒牧店はFC店。全員参加の店舗運営がモットーで、自社HP内に各店舗のブログを立ち上げ、店舗スタッフが日々更新している。買う側と売る側の双方が楽しめるシステムを強みに、今後は首都圏への出店を予定。